

【 基本理念 】

湯浅町社会福祉協議会は、地域の様々な人々の知恵と力を結集し
「誰もが安全で安心して暮らせる福祉と人権の守られた町づくり」の
推進を図ります。

わたしたちが暮らす湯浅町は全国的な流れと同様、若年世代が減少し、高齢地域となっています。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行など新たな社会課題の発生や少子高齢化に伴う地域課題を抱えるなか、当会では基本理念達成のために住民本位・住民を主役とした活動を実施していかなければなりません。

そのためにも、住民が抱える課題の解決に向け、各関係機関との連携を密にし、住民が気軽に利用できる総合的な相談窓口としての社協をめざします。

また、社会福祉法人の大きな役割の1つである公益的な事業を実施するため、地域住民が主体となったサロン活動への継続的な支援を行うとともに、第一層生活支援コーディネーター業務のなかで、新規地区でのサロン開設や地域ニーズの把握、社会資源の掘り起こしに取り組み、支え合いによる生きがい対策で住民同士のつながりの輪を広げる活動を推進します。

さらに、本年度は方津戸地区への移転により新湯浅町地域福祉センターの指定管理運営業務が始まります。センターの移転を機にボランティア活動の更なる推進と充実により湯浅町の地域福祉の発展をはじめ、地域防災の拠点として災害等の緊急時にも協働いただける開かれた運営を目指し、住民主体型の福祉の町づくりを進めます。

介護事業分野においては、利用者本位のサービス提供はもとより、新施設での新たな取り組みを研究・企画・立案し、今まで以上に満足度の高いサービスを実施していきたいと考えます。

本年度も職員が一丸となって以上の活動に対する取り組みを強化し、町民の皆様理解・賛同・参画されるように創意工夫した広報啓発に努め、基本理念である「安全で安心して暮らせる福祉と人権が守られた町づくり」達成のための事業を推進します。